

2021年度未来ファンドおうみの助成基金 採択団体一覧

①びわこ市民活動応援基金A

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	番場の歴史を知り明日を考える会	近江古代史文庫創設事業	番場資料館の分室として古代史文庫を創設し、古代史の第一級研究者である立命館大学名誉教授の山尾幸久先生の蔵書約2万冊の保管・貸出を行います。あわせて定期的な講演会や勉強会を開催し、地域の古代史の研究・発信の拠点として、地域の活性化に寄与していきます。	300,000
2	ぼてじゃこトラスト	滋賀の魚つかみ文化を次世代につなぐ、楽しく遊び、学ぶ親子自然体験教室	子どもたちに川遊びや雑魚捕りを体験してもらい、川遊びや雑魚捕りを滋賀県の伝統文化として継承してほしいとの思いのもと、親子で学ぶ自然体験教室「ぼてじゃこワンパク塾」を実施しています。今年度は、新たに「ワンパク頑張り隊」を結成し、ボランティア活動をする家族を育てます。また3-6歳の子どもの対象とした「生き物ふれあい教室」も開講します。	100,000
3	特定非営利活動法人 やんちゃ寺	中高生の居場所・無料食堂における青少年健全育成事業	地域のお寺という場を活用し、生きづらさを抱えていたり、行動が荒れたり居場所がないと感じる青少年を対象に、気軽に遊びに集まれる場や食事の場を提供します。子どもたちがありのままに自分が認められる体験を積み、自己肯定感を育みながら心の栄養補給ができる機会をつくります。今年度は、草津市の遍照寺のほか、東近江市の梵釈寺、彦根市の済福寺、愛荘町の豊満神社、長浜市の浄願寺と活動拠点を広げていく予定です。	172,000
4	甲賀文化輝き	「それいけ！輝き忍術学園」動画配信・ミュージカル事業	「それいけ！輝き忍術学園」の物語を、Youtubeで動画配信し、その動画の伏線を回収する形でミュージカルの上演を行います。物語の中には、甲賀市の名所や忍者の知識を多数盛り込み、地域の方々に甲賀の魅力をもっと知ってもらい、自分の住むまちを好きになってもらうことを目的としています。また、ミュージカルの制作に地域の方々が主体で参加することにより、地域の人々のつながりが強化され、生き活きた地域づくりに寄与していきます。	300,000

びわこ市民活動応援基金C

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	みんなの家EH	買物困難者のための24H無人ミニショップ運営（非営利）	空き家をリノベーションした拠点のスペースにて、新型コロナウイルスの影響により増えている買物困難者のための24時間無人販売所を運営します。生鮮食料以外の食品、災害時の非常用食料、日用品等を販売し、買物困難者の救済および住民の利便性向上を図ります。	100,000

②びわ湖の日基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気会	里山の自然の中で体験学習を楽しもう(来て見て作って自然教室)	従来から行ってきた保育園児～小学校低学年主体の里山遊びに加え、今年度は高学年～大人を対象とした、野外体験学習を実施します。具体的には、クラフト教室や、パン焼き教室、キノコ観察教室、山野草・花木の調査と観察、里山ボランティア体験などを行います。里山の活動を通して地域を活性化し、未来を託する子どもたちに自然とのふれあいを通して自然ゆたかな環境の大切さを知ってもらうとともに、元気な里山を育て次世代に引き継いでいくことを目的としています。	280,000
2	いしみち里山保全グループ	石道100年の山林保全整備事業	長浜市木之本町石道自治会地内は、古来より続いた典型的な里山ですが、近年、少子高齢化や過疎化の影響で周辺の森林や休耕地が荒廃してきました。本事業では、将来に向けてこの里山の森林整備を行います。山の恵みと作業を知るものが協力して行動することで、若い世代にも関心をもってもらい、森林環境の保全を地域住民が協力し、豊かな里山および森林作業を次世代に繋ぐことを目的としています。	300,000
3	認定NPO法人 びわこ豊穡の郷	水辺で遊び癒され楽しみのある川づくりで文化と医療を環境で繋ぐ	守山市の中央を流れる目田川の美化活動(ごみ拾い、除草作業、水草除去、花の植栽)を定期的に行い、年間を通して子どもたちが水辺に親しむことのできる市民の憩いの場づくりを行います。今年度は、水辺を会場としたコンサートを開催し、市民や県立総合病院の患者さん、医療従事者の方々への応援としていきます。	195,000

③積水化成品基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	特定非営利活動法人 環境と農業の融合を考える会 鹿深の杜	地域(里山)環境整備と環境学習の場の提供Ⅱ	会員、高齢者ボランティア、積水化成品グループ社員、地域住民の方々と力をあわせて里山や農地周辺の整備(草刈り、間伐、枯れ木の撤去、階段や遊歩道、木道の設置作業)を行います。また秋には、市民農園で収穫した野菜等で収穫祭を開催し、地域の方をはじめ、参加者相互の親睦を図ります。	200,000

④笑顔あふれるコープしが基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	大丈夫をみつけよう	自分はこれで良いんだと感じられる大丈夫食堂	毎月1回、第3金曜日の15時～19時まで子ども対象の勉強会や遊び、季節に合わせた楽しいイベントを開催し、信楽地域の高齢者、障がい者、子育て世代、青少年など誰もが立ち寄れる居場所づくりを行います。「大丈夫食堂」に来て誰かにつながり、「自分はこれで大丈夫」と感じられるような居場所（空間、仲間）づくりを目的としています。	100,000
2	人形劇団あつぶりけ	手作りの温かさとお話に残るお話を伝承して行きたい	こども園、身体障害者施設、高齢者施設、図書館等で、お母さん手作りの人形劇を上演します。手作りの人形劇他の作品を通して、お話の楽しさ、悲しさ、面白さ、優しさ、温かさが、子どもたちの成長につながることを願い活動しています。	100,000

⑤ナカザワNEOフレンドシップ基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	愛荘町国際交流協会	遊びはボーダーレス！「たのしい」で繋がる多文化共生プログラム	外国籍児童と日本人児童を対象に、多文化共生プログラムを実施します。プログラムでは、子どもたちが協力して1つの大きなすごろく盤をつくります。全10回のうち、1～8回は準備、9回目は会場設置、10回目はすごろく大会を開催し、一般の方にも参加していただきます。外国籍児童と日本人児童が交流を深め、協力して活動することでお互いを知り、異質なものを排除するのではなく、受け入れ共生する心を育てていくことを目的としています。	100,000

⑥げんさん食育NPO基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	特定非営利活動法人あめんど	僕らが主役の課外授業 イチゴ会	発達障がいの児童のための課外事業を提供します。具体的には、いちごを育て、畑作業を体験し、体験したことを毎回記録に書き、一年間の活動をまとめます。障がいを持っていると消極的になりがちで、自己肯定感も低くなりがちですが、自分のペースが守られ、活動の主人公として働くことで自信を育みます。また畑作業により基礎体力をつけ、1年の植物の育ちを知ることで自然への興味を深め、振り返りを行いまとめることで書く力や考える力を養います。	96,000
2	社会福祉法人美輪湖の家	安心安全な材料で本格的な「ケーキ」を利用者の自主協同の下生産	知的障害・精神障害を持つ利用者が皆で自らがどんなケーキを作るかを発案し、計画を練り、皆で生産し、「自主協同」を実施します。果敢に新しいメニューに挑戦し、「できる。できた。」の感動を味わうとともに、皆で天地一切の恵みに感謝して一緒に食することで食育につながっていきます。	100,000

⑦湖国文学活動応援むらさき基金

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	くさつ・やぐら 地蔵文化研究会	「地域の魅力再発見」地域に生き、かつ残る民俗文化の魅力をも冊子制作し地域づくりに活用	草津・矢倉地域に残る地蔵(地蔵盆・お講)調査を柱とし、地域に残る伝承について地域の高齢の方々へ聞き取り調査を行い、冊子にまとめ活用します。また、地域の地蔵盆やふれあいまつりなどでブース出展し、高齢者の方々に語り部として地蔵盆などの地域の行事や、昔の暮らしなどを語っていただき、地域の伝承や文化を子どもたちに語り継ぎます。他にも、小学校への出張授業や「まち旅」健幸ウォークなどを実施します。	100,000
2	しなやかシニアの会	平家物語研究会	大津にある平家物語の舞台になった場所を訪ね、800年の時空を超えて当時の人の思いを肌で感じるとともに、古典に対する理解と親しみを深めます。古典作品を鑑賞すると同時に、地域住民に呼びかけ、関心を持ってもらうと同時に、まだ残る貴重な痕跡や伝承を後世に記録として残します。具体的には、平家物語の講読や考察を行い、各自の研究テーマを決め、原稿を執筆し、冊子にまとめて関係個所に配布します。	100,000
3	特定非営利活動法人 高島藤樹会	近江聖人「中江藤樹」の思想の、音声付き紙芝居による教育現場等での啓発事業	この事業では、地域に古くから伝わる近江聖人中江藤樹先生の物語(教えや遺徳)を音声つき紙芝居としてDVD化し、高島市内の小中学校、公民館等に配布します。これまでも紙芝居を市内の約50施設に寄贈し、ボランティアの話し手により上演していましたが、話し手の減少や高齢化により上演の機会が減っていました。本事業でDVD化することにより、小中学校での道徳の授業等でも手軽に活用ができるようになり、中江藤樹の孝の思想がより分かりやすく、親しみやすい形で広がっていくことをめざしています。	100,000

⑧びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金②

	団体名	事業名	事業内容	助成額
1	東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会	100年の森づくりビジョン 東近江市・あらゆる場面で木を使うプロジェクト	東近江市産の木材を使用した玩具や材料による木育イベントを実施します。また、日常生活のあらゆる場面で使用できる木製品を制作し、イベント等で展示することで、木の良さを広くアピールします。本年度は、木育活動をさらに広げていくとともに、東近江市産木材を活用した木製品の製品開発や改良を進めていきます。	300,000